

山口大学創基200周年記念誌編纂部門委員

編纂部門長

副学長(学術情報担当)	瀬 瀬 厚	(平成23年5月27日～平成24年3月31日)
副学長(学術情報担当)	山 内 直 樹	(平成24年4月 1日～)

編纂部門委員

人文学部 准教授	下 寄 正 利	(平成23年5月27日～)
教育学部 教授	荒 木 一 視	(平成23年5月27日～)
経済学部 教授	木 部 和 昭	(平成23年5月27日～)
理学部 教授	村 上 柳太郎	(平成23年5月27日～)
医学部 教授	中 村 和 行	(平成23年5月27日～平成26年3月31日)
医学部 教授	玉 田 耕 治	(平成26年4月 1日～)
工学部 教授	中 倉 英 雄	(平成23年5月27日～)
農学部 教授	荊 木 康 臣	(平成23年5月27日～)
共同獣医学部 准教授	平 岡 博 子	(平成24年5月 1日～平成24年12月31日)
共同獣医学部 助教	谷 口 雅 康	(平成25年1月 1日～)
医学部附属病院 教授	井 上 裕 二	(平成23年5月27日～平成26年3月31日)
医学部附属病院 教授	谷 澤 幸 生	(平成26年4月 1日～)
東アジア研究科 教授	福 田 隆 眞	(平成23年5月27日～)
技術経営研究科 教授	稲 葉 和 也	(平成23年5月27日～)
大学教育機構 准教授	林 寛 子	(平成23年5月27日～)
大学研究推進機構 教授	長 畑 実	(平成23年5月27日～)
情報環境部 部長	酒 井 清 彦	(平成23年5月27日～平成25年3月31日)
情報環境部 部長	石 橋 英 二	(平成25年4月 1日～)
総務部 部長	大 島 敏 行	(平成23年5月27日～平成24年3月31日)
総務部 部長	中 禮 裕 己	(平成24年4月 1日～平成26年3月31日)
総務部 部長	川 畑 廣 史	(平成26年4月 1日～)

あとがき

山口大学創基200周年記念誌は創基200周年記念事業の一貫として企画されたもので、平成23年7月に開催された第1回編集室会議において記念誌編纂基本方針が策定され、同年8月に開催された山口大学創基200周年記念事業企画・実施部会にて基本方針が了承された。その後、平成23年11月には各部局委員と編集室会議構成員を中心とした第1回山口大学創基200周年記念誌編纂部門委員会が開催され、記念誌の編纂方針と編纂スケジュールについて承認された。記念誌は電子版も同時に作成し、平成26年の12月刊行を目指して作業をすることとなった。

記念誌の基本コンセプトは、比較的コンパクトで読み物として面白味があり、加えて、大学史としての体裁も整えることとした。また、タイトルは『「志」つなぎ 伝える 二百年』となり、その構成は視覚的な要素を重視し、図表や写真を多く取り入れることとなった。

記念誌の内容は三部構成となっており、第1部の「志」では本学卒業生である作家の古川薫氏による大学時代の思い出を綴った特別寄稿や、山口講堂の創設から新制大学の誕生までの軌跡をたどっている。歴代学長による座談会では第8代学長から現13代学長の出席のもと、山口大学において200年に亘って受け継がれてきた「志」とは何かを中心に学長時代の苦労話や思い出についても語っていただいた。

第2部の「繋」では学部・大学院や共同利用・共同研究施設の発展について各部局の先生方を中心に、また、同窓会のあゆみでは各部局同窓会の発展等について卒業生の方々に執筆していただいた。なお、校正時には全体としての統一を図るため、ページ数や内容に関して変更をお願いした経緯もあり、この場を借りてご容赦願いたい。

第3部の「伝」では山口大学のこれからをテーマとし、現在の山口大学の姿についてキャンパス内の写真を中心に紹介し、「明日の山口大学ビジョン」をもとに山口大学の目指す将来像を紹介し、さらに、学長インタビューの中で山口大学は何を目指しどこに向かうのかについて岡学長にその思いを語っていただいた。

記念誌の作成に携わる中で、200年前、山口の地において学問を教授し、人材育成の必要性を強く感じた萩藩士、上田鳳陽の思い、そして、その思いを実現すべく藩に学問所の建設を働きかけた努力が実り山口講堂が創設され、今日ある山口大学の礎を築くことになったという歴史の重みを深く感じ取ることができた。また、200年後の今、山口大学に課せられているその使命を考えると、地域に貢献する大学としての役割を担うことについてより一層思いを強くした感は否めない。さらに、次年度には新学部である国際総合科学部が設置され、山口大学はグローバル化に対応した人材育成の場としても重要な役割を担うこととなる。これからの山口大学が地域から世界に向け貢献する大学として、さらなる発展を遂げることを期待したい。

記念誌作成にあたり、本来なら資料及び写真を提供していただいた方々のお名前を記して謝意を表すべきであるが、紙面の都合で割愛させていただいた。また、お寄せいただいた写真や原稿の中には編集の都合上掲載できなかったものもある。お詫びするとともに、ご協力に対して深く感謝申し上げます。

最後に、記念誌編纂部門委員会委員および編集室会議構成員各位、執筆していただいた教職員並びに卒業生の皆様方、記念誌のレイアウトなど作成に関わっていただいた大村印刷の記念誌製作チーム各位をはじめとして、記念誌の作成でお世話になったすべての皆様方に対して感謝申し上げます。

平成26年12月吉日

山口大学創基200周年記念誌編纂部門委員会
委員長 山内 直樹